

おはようございます。

長崎大学人、河野茂です。

今年の大学の方針を簡単に言えば、
＜コロナを理由にせず、普通の活動に戻そう＞
と、言うことです。

新型コロナウイルスは、しばらくなくなることはありません。

完全に、コロナ前の生活に戻ることもないでしょう。

しかしながら、今は、新型コロナウイルスに対して、ワクチンができ、検査体制や治療についても、なにもわからなかった3年前と比べると格段の進歩がみられています。

このパンデミックを生きてきた我々は、様々な工夫や知恵も得ました。だから、＜普通の活動をする＞ことが可能と思われます。

＜普通＞とは何かとか、コロナ前の＜普通＞は消失したという議論もあるでしょう。

感染対策がなくなることはありませんから、確かにそのとおりかもしれません。

しかし、学生が、普通に学校に登校し、普通に授業を受け、普通に課外活動に汗を流し、教職員が、普通に教育・研究に力を注ぐ…という光景がキャンパスで見られるようにしなければなりません。

そうなるように、皆で努力をしなければなりません。

再度言いますが、新型コロナウイルスがなくなることはありません。

ウィズ・コロナの下では、＜普通＞を意識して活動しなければならないのです。

それが、ニュー・ノーマルということかもしれず、コロナ後の＜普通＞を創造していくことにほかなりません。

いつまでも、＜コロナ＞を理由に、言い換えればコロナ前と比較して学業の停滞や教育・研究の停滞を放置してはダメなのです。

＜コロナ＞を言い訳に、あなたの可能性を小さくしてはダメなのです。

「コロナだから、しょうがないね」「コロナが終わってから、再開しよう」「コロナがね……」。

我々は、コロナをスケープゴートにして、逃げていました。もう、これは止めましょう。

コロナは無くなりません。だから、新しい＜普通＞の活動をしましょう。大袈裟かもしれませんが、私たちは新しい＜普通＞を切り拓くパイオニアになるのです。

ぜひ、前向きな、今年の皆さんの抱負をお待ちしております。

お気軽にメールください。